

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月7日

上場会社名 日本伸銅株式会社 上場取引所 東
コード番号 5753 URL <https://www.nippon-shindo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高倉 英朗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 木本 道隆 TEL 072 - 229 - 0346
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,090	11.7	321	△47.6	369	—	253	—
2025年3月期第1四半期	6,350	0.8	612	100.1	9	△97.0	5	△97.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	118.78	—
2025年3月期第1四半期	2.67	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	16,711	12,170	72.8
2025年3月期	16,474	11,909	72.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 12,170百万円 2025年3月期 11,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△0.5	1,170	△36.3	1,170	△17.2	820	△15.0	383.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	2,370,000株	2025年3月期	2,370,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	232,998株	2025年3月期	232,998株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	2,137,002株	2025年3月期1Q	2,137,097株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、円安によるインバウンド需要が旺盛なまま推移し、また、米の価格が高騰するなどして消費者物価が上昇しました。4月には、2025年大阪・関西万博が開幕しました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、販売数量が5,507トン（前年同期比12.7%増加）となりました。売上高は70億90百万円（同11.7%増加）、営業利益は3億21百万円（同47.6%減少）となりました。銅相場のリスクをヘッジするためのデリバティブ取引でデリバティブ利益が1億62百万円、デリバティブ評価損が1億23百万円発生したため、経常利益は3億69百万円（前年同期は経常利益9百万円）、四半期純利益は2億53百万円（前年同期は四半期純利益5百万円）となりました。

当社は伸銅品関連事業の単一セグメントとしております。伸銅品関連事業の部門別の経営成績は、次のとおりであります。

（伸銅品）

当社の主力製品である伸銅品においては、販売数量5,299トン（前年同期比12.8%増加）、売上高は62億21百万円（同12.9%増加）となりました。

（伸銅加工品）

伸銅加工品においては、売上高は3億81百万円（前年同期比41.4%増加）となりました。

（その他の金属材料）

その他の金属材料においては、伸銅品原材料の転売が主で、売上高は4億87百万円（前年同期比14.2%減少）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は135億80百万円となり、前事業年度末と比べ2億17百万円増加しました。これは主に棚卸資産が79百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が3億9百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は31億30百万円となり、前事業年度末に比べ18百万円増加しました。

この結果、資産合計は167億11百万円となり、前事業年度末に比べ、2億36百万円増加しました。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は40億52百万円となり、前事業年度末と比べ43百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が2億57百万円増加したものの、未払法人税等が2億30百万円、短期借入金が1億円減少したこと等によるものであります。固定負債は4億88百万円となり、前事業年度末に比べ19百万円増加しました。

この結果、負債合計は45億40百万円となり、前事業年度末と比べ24百万円減少しました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は121億70百万円となり、前事業年度末に比べ2億61百万円増加しました。これは主に四半期純利益2億53百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.8%（前事業年度末は72.3%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年5月12日「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	187	200
受取手形及び売掛金	3,512	3,822
電子記録債権	4,448	4,421
商品及び製品	1,276	1,158
仕掛品	2,039	2,150
原材料及び貯蔵品	1,808	1,736
その他	89	90
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,362	13,580
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,078	2,078
その他（純額）	407	389
有形固定資産合計	2,486	2,468
無形固定資産	84	77
投資その他の資産		
その他	541	584
投資その他の資産合計	541	584
固定資産合計	3,112	3,130
資産合計	16,474	16,711
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,848	2,105
短期借入金	1,500	1,400
未払法人税等	353	123
賞与引当金	99	41
その他	294	381
流動負債合計	4,096	4,052
固定負債		
退職給付引当金	24	28
その他	444	459
固定負債合計	469	488
負債合計	4,565	4,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,595	1,595
資本剰余金	290	290
利益剰余金	10,285	10,517
自己株式	△417	△417
株主資本合計	11,753	11,986
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	155	184
評価・換算差額等合計	155	184
純資産合計	11,909	12,170
負債純資産合計	16,474	16,711

（2）四半期損益計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
売上高	6,350	7,090
売上原価	5,525	6,557
売上総利益	825	533
販売費及び一般管理費	213	212
営業利益	612	321
営業外収益		
受取配当金	6	6
デリバティブ利益	—	162
その他	2	5
営業外収益合計	9	175
営業外費用		
支払利息	1	2
デリバティブ損失	438	—
デリバティブ評価損	172	123
営業外費用合計	612	126
経常利益	9	369
特別損失		
固定資産除却損	1	—
特別損失合計	1	—
税引前四半期純利益	8	369
法人税等	2	116
四半期純利益	5	253

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	27百万円	28百万円

(セグメント情報等の注記)

当社は、伸銅品関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。